

第 10 回 CT Colonography Webinar を終えて

小樽掖済会病院 平野雄士

2025 年 3 月 13 日（木）18：30 より行われた第 10 回 CT Colonography Webinar に関して報告します。この Webinar は消化管 CT 技術学会とブラッコ・ジャパン株式会社の共催で企画しています。

今回は私が座長を務め、愛知県、山下病院の山崎通尋先生に講演して頂きました。山崎先生は大腸 CT に少しでも関わった方ならご存じと思いますが、スクリーニング大腸 CT の先駆者であり、大腸 CT の達人です。2003 年に東芝製（当時）CT の Aquilion 16 を導入後、スクリーニング大腸 CT(CTC)を開始し、2004 年からは CTC タスクフォースの一員として日本における大腸 CT の検査法の確立に尽力しました。2005 年には日本放射線技術学会に「MSCT を用いた大腸スクリーニング検査の有用性の検討」を報告。2008 年には INNERVISION の別冊付録にて「CT colonography ー大腸画像診断は新たなステージへー」を CTC タスクフォースメンバーと共同執筆し、当時ほとんど知られていなかった大腸 CT の全体像を実用的にまとめ、その後の CTC 技術の礎を築きました。2010 年からは消化管 CT 技術研究会世話人、2019 年日本消化管 CT 技術学会顧問、2020 年からは日本大腸 CT 専門技師認定機構監事、日本 Virtual Reality 学会評議員を務め日本の大腸 CT の発展に力を注いできました。定年を迎えてからも病院から慰留され副院長として重責を担ってきましたが、この 3 月で山下病院から離れることになりました。大腸 CT の活動からもしばらく身を引くということで、今後、山崎先生のお話を聞く機会はなかなか難しいことから、今回、無理を言って講演をお願いした次第です。

講演頂いた内容は「大腸 CT 検査の意義と診療放射線技師の役割」というタイトルで、前処置から腸管拡張、読影の技術の要点と陥りやすい pitfall や選りすぐりの症例を解説していただきました。

山下病院は大腸 CT 開始当初から、常に日本で一番の症例数を誇る

失敗談や難渋した症例に対しても説得力が違います。「大腸 CT の意義は受容性であり、早期発見から内視鏡診断への誘導を効率的に利用する環境を作ることです。受診率を上げ、大腸がんで亡くなる人を一人でも減らしていくことを期待します。」と優しく話されていました。心の声でもあり、強く印象に残りました。今までの Webinar では質問に対しては、時間切れで答えられないこともありましたが、最後の質問まで答えて頂きました。

長年の活躍の陰にあった苦労は語るべくありませんが、我々としては先生の今までの活動に感謝しかありません。今後、多くの技師がこの知識と技術を受け継ぎ、より良い検査を構築して欲しいと思います。山崎先生、ありがとうございました。

第10回CT Colonography Webinar

2025年3月13日(木) 18:30 ~ 20:00

視聴方法

本セミナーはZoomを利用したWeb配信

https://us06web.zoom.us/join/register/WN_GYmsFXQYtQB5-LQb5A-Q-g



視聴登録はこちらより

18:30 ~ 18:40	製品紹介「プロトCO2Lタッチ」 (ブラッコジャパン株式会社 マーケティング部 大江 崇史)
18:40 ~ 19:55	開会の挨拶 坂本 崇 先生 (済生会熊本病院)
19:55 ~ 20:00	第23回日本消化管CT技術学会 日本大腸CT専門技術認定機構のご案内 鈴木 雅裕 先生 (イーメディア・カル東京)

座長

講演

平野 雄士 先生 (小樽横濱済会病院)

「大腸CT検査の意義と診療放射線技師の役割」

山崎 通寿 先生 (山下病院)

本セミナーは、以下の機種に認定されており、
 日本大腸CT専門技術認定機構(1単位)・腸がんCT検診認定機種(3単位)
 日本大腸CT専門技術認定機構(7単位)

河津薬品会社から送られる内容や登録される文字、写真、イラストなどの無断での複製、転載、改変その他の二次利用は
 お断りいたします。

※ここから入力いただきました個人情報は、個人情報を保護法及び弊社内規定により適切に管理します。
 ブラウコ・ジャパンが「個人情報保護に関する取組方針」 <https://www.browco-japan.co.jp/about-us/privacy>

共催： NPO法人日本消化管CT技術学会 / ブラッコ・ジャパン株式会社

